

勤乗動 内達- 改悪 攻撃

# 否拒『着結末3月』葉千葉労働

# 日刊 勤乗動 葉千葉労働

84. 4. 4 No. 1609

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二・二二七二〇七

## またも裏切り妥結の先兵 「勤乗動本部革マルを弾劾・掃せよ」

### 新たな陣いの構築を！

内達―勤乗動改悪阻止の闘いは、三月三十一日から四月一日にかけて、勤乗動千葉を除く全組合が、「大筋了解」に達したことをもって新たな段階へ入りました。この過程で「働き度はクリアする」との方針を掲げて、勤乗動「本部」革マル反動分子が当局方針に率先協力してまたもや裏切りの片仕切りに走った事実経過とその犯罪性については前号で暴露したとおりです。この困難な状況に抗して、われわれ勤乗動千葉は、三月三十一日「大筋了解」の強要を断固として拒否して闘う立場を貫きました。（前号よりの続き）

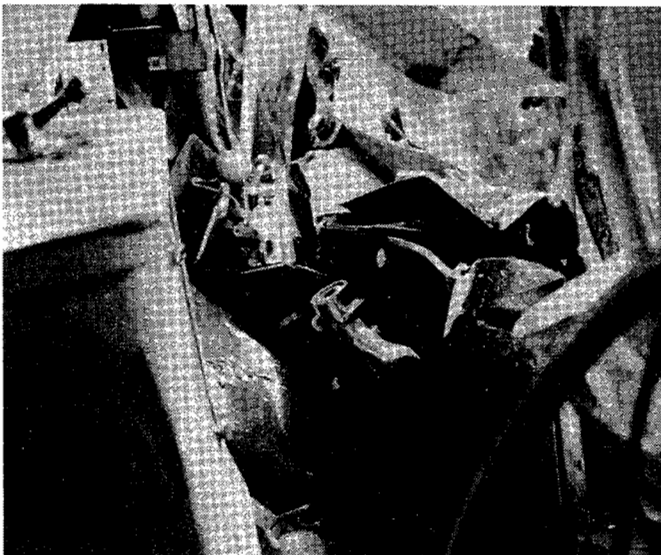
### 勤乗動千葉 断固として

### 三月三十一日「大筋了解」を拒否

勤乗動千葉は、以上の進展の中で、

1. 提案以降永い年月を経過しているとはいえ、この間、実質的な団体交渉は極めて短い時間しか行われておらず、動力車乗務員の勤務と賃金全般に関する問題の複雑さという内容からも技術論的討議が不十分である。しかも、実際的には「60・3」以降の問題であるにもかかわらず「三月末決着」を強行せんとする当局姿勢は不純である。
2. 何よりも

- (1) 「四週を平均して、一週平均四〇時間、一日平均六時間四〇分」の労働時間を「超え」て乗務割交番を「作成するものとする」ことは、全ての動力車乗務員に「強制労働＝奴隷労働」を強いるものであり、労働組合である以上認めがたい。
- (2) 法の精神は、使用者の不当な搾取から労働者の権利を守ることにより、労働時間等の上限を規定することによって保障されている。今次提案の内容および団体交渉における当局姿勢は、以上の考えを否定し、運転保安度の低下や健康で文化的な生活の破壊等、動力車



平野君は非常ブレーキを掛けハンドルを握りしめたまま殺された。勤乗動改悪は大合理化と大事故続発の道だ。勤乗動改悪を阻止しよう。（写真は3/30破壊された246M列車の運転席）

乗務員の仕事と生活を顧慮しないものであるといわなければならない。の二点について、当局姿勢は不当であり納得し難い。

という主張をもって、三月末「大筋了解」を拒否したところです。

### さらに組織を打ち固め闘い抜こう！

以上の経過を見ても明らかなおお、勤乗動千葉のみが「大筋了解」を拒否しているということに對する反動が凄じい勢いでおしよせてくることは必至であるといわなければなりません。

勤乗動千葉は現在も連続した団体交渉を展開しており、四月六日、支部代表者会議―84春闘総決起集会の圧倒的成功を基点に闘いを強化してゆく事としますが、この間の雪害―故・平野運転士の殉職事故を見ても、当局の無謀な合理化と闘わなければ労働者は殺されてしまうことははっきりとしています。

われわれはこの間の組織強化の取り組みで培ってきた「3・25三里塚・六三三名動員」で示された強固な組織力に依拠し、自信と確信をもって新たな闘いに決起してゆこうではありませんか。

1984年(昭和59年)4月1日 日曜日

### 国鉄の乗務員

## 超勤ダイヤの制度化に合意

「私鉄並み」へ一歩

勤乗 三十余年ぶり改定

来年3月実施

朝日新聞

勤乗千葉本部 打ち固め闘おう